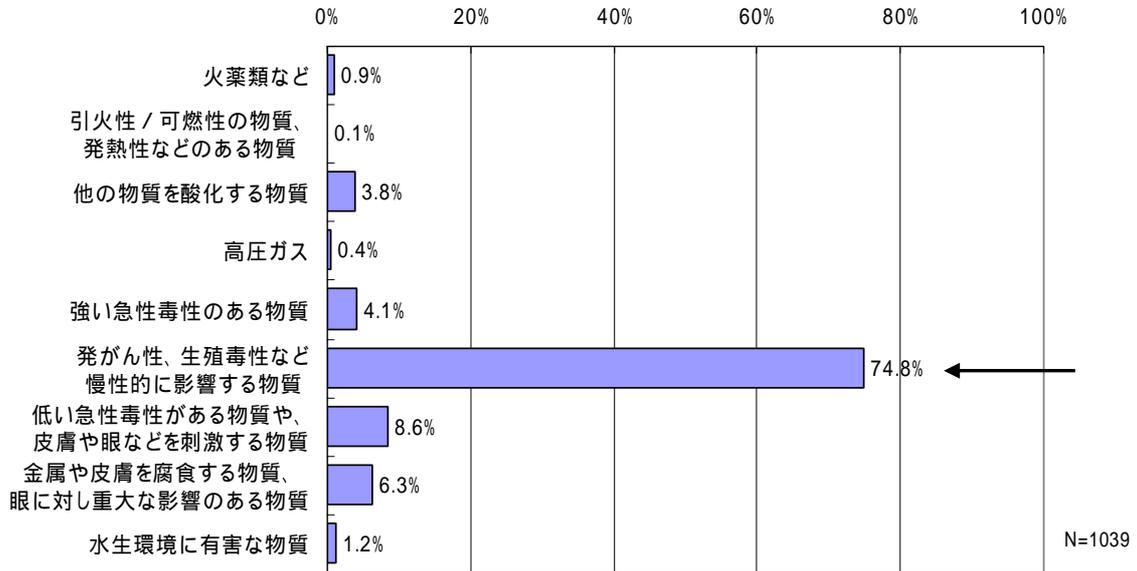
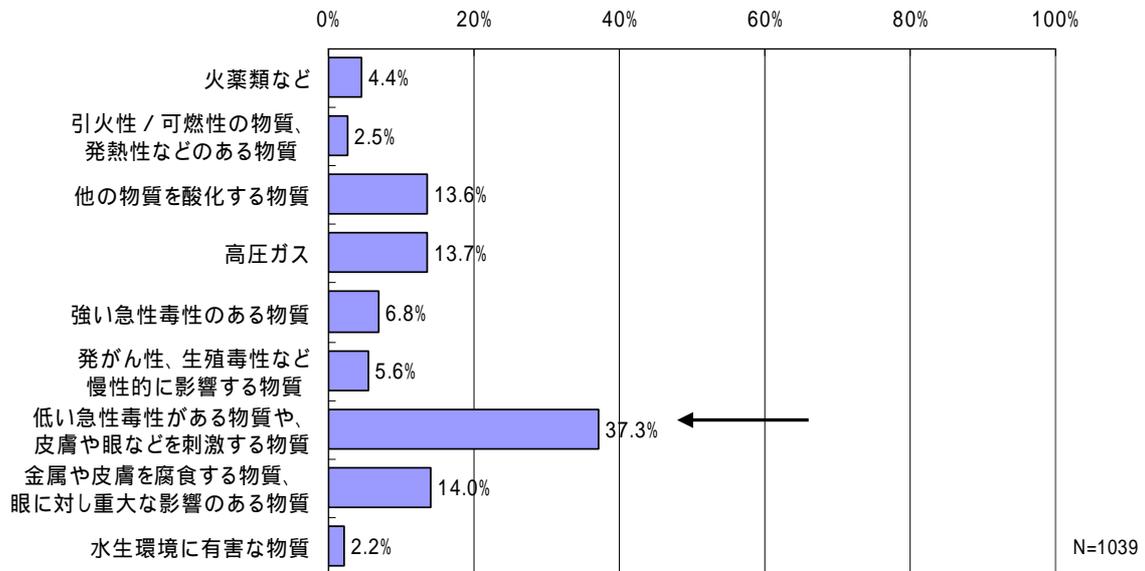




(発がん性)

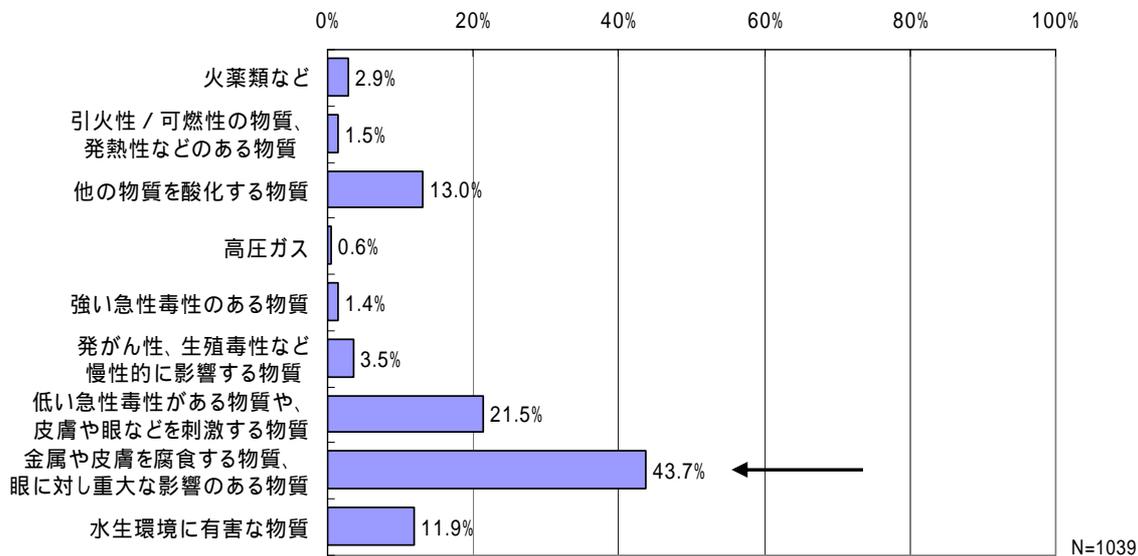


(低い急性毒性)

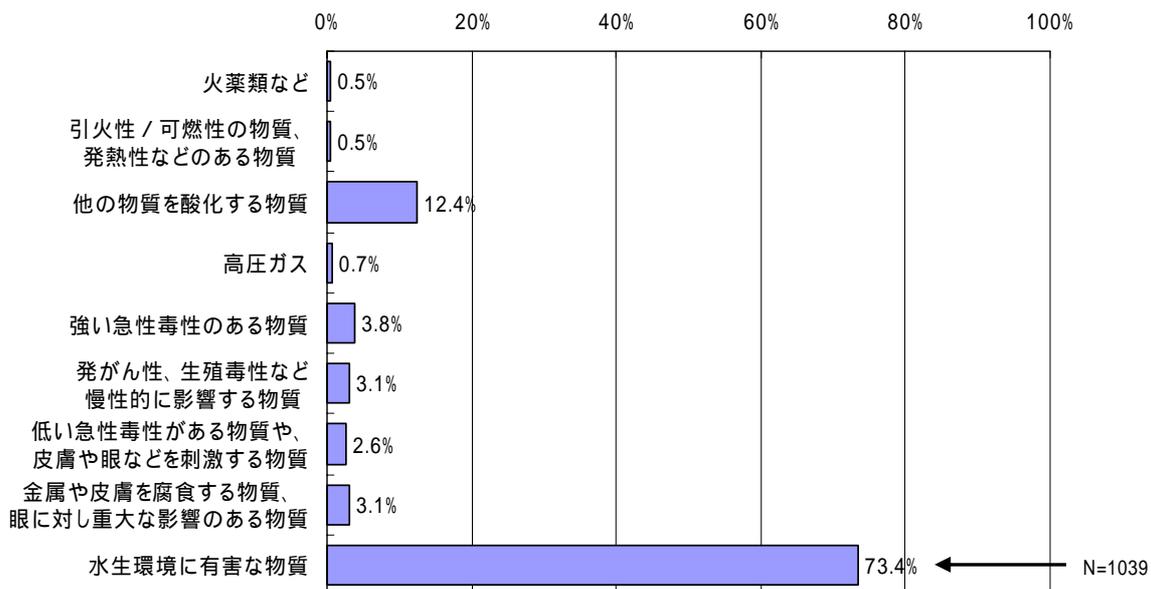




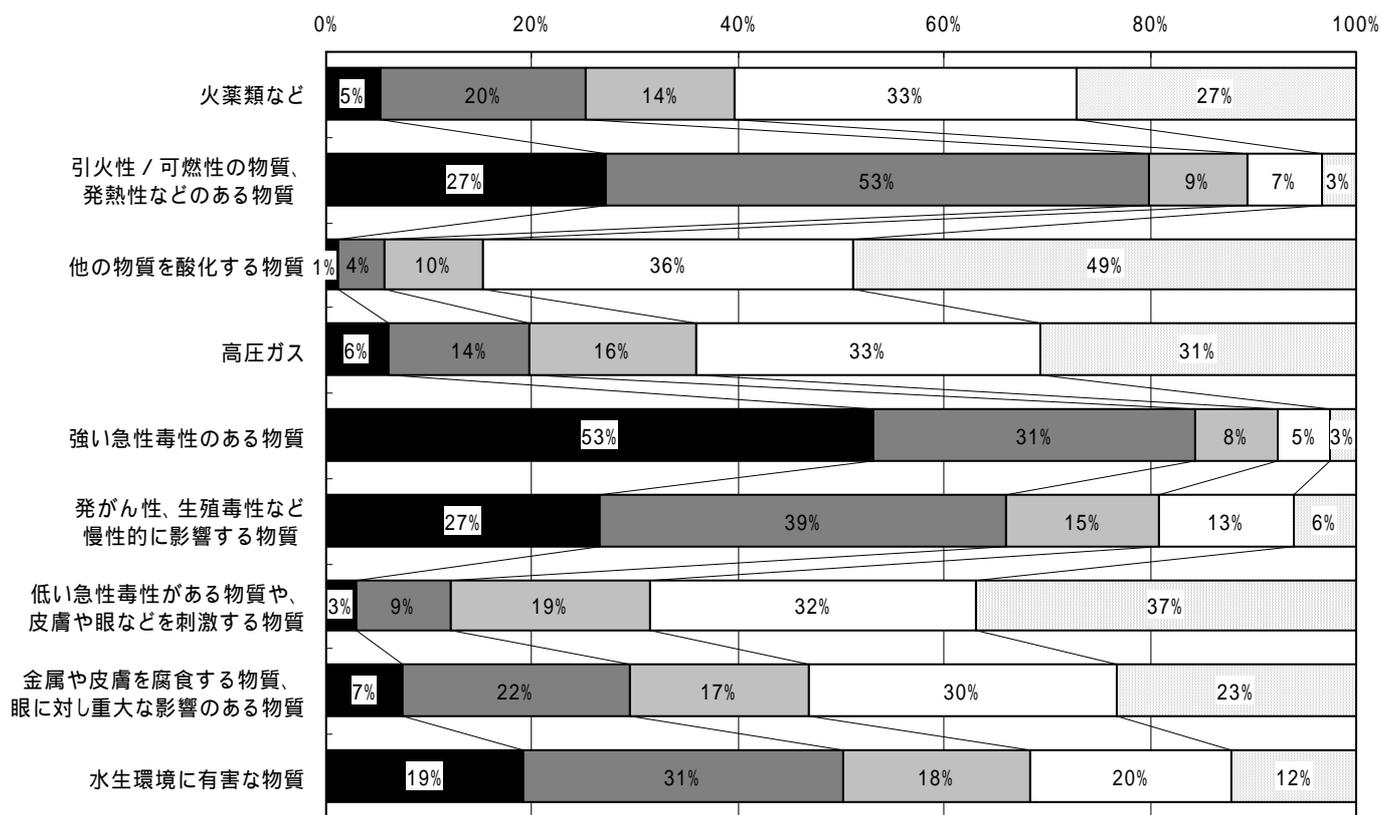
(金属腐食性、皮膚刺激性)



(水性環境有害性)



(22) シンボルマークからその危険有害性はイメージしやすいですか。

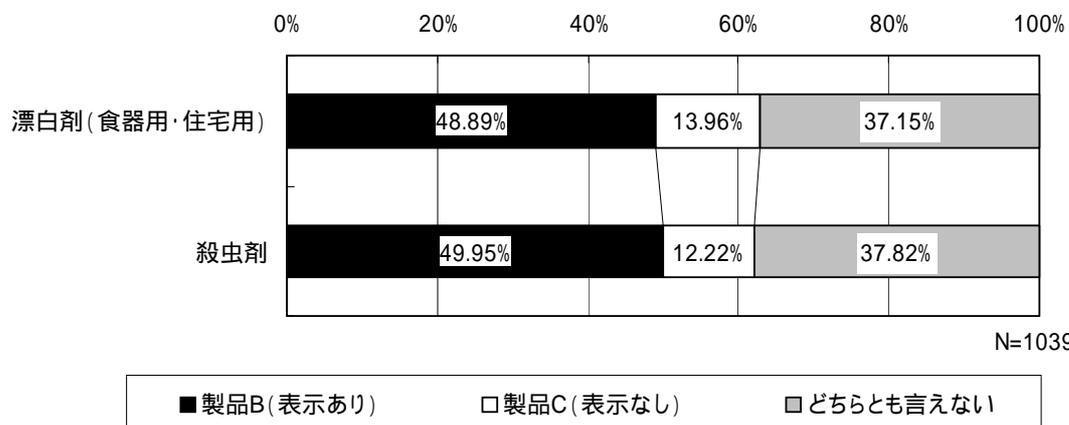
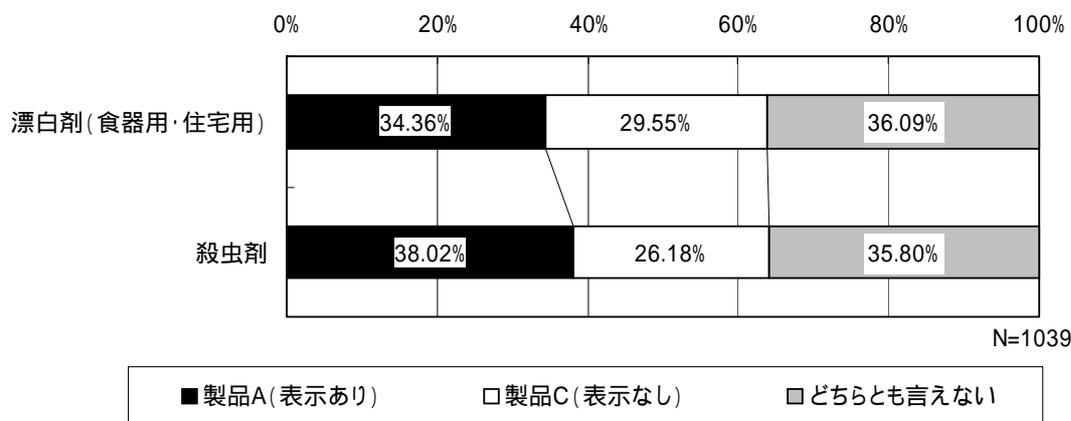


N=1039

■ 非常に分かりやすい □ 分かりやすい □ どちらとも言えない □ 分かりにくい □ 非常に分かりにくい

「非常に分かりやすい」もしくは「分かりやすい」という回答が多いのは、引火性、強い急性毒性、発がん性などとなりました。逆に、「非常に分かりにくい」もしくは「分かりにくい」という回答が多いのは、酸化性物質、高压ガス、低い急性毒性などとなっています。

(23) 以下のような GHS に基づく表示が付き製品 A、B と、GHS に基づく表示が何もない製品 C があつた場合どちらを購入しますか。

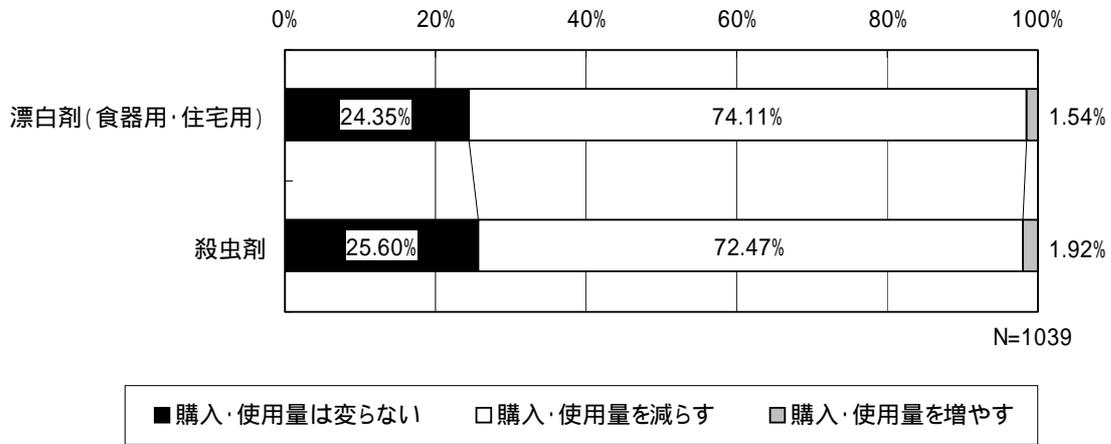


上記の 2 種類の表示については、表示がある製品を購入するという回答の方が、表示がない製品を購入するという回答よりも多くなりました。また、より危険有害性の低い製品 B (警告) の表示が付いている場合の方が、表示の付いた製品を購入するという回答割合が高くなっています。

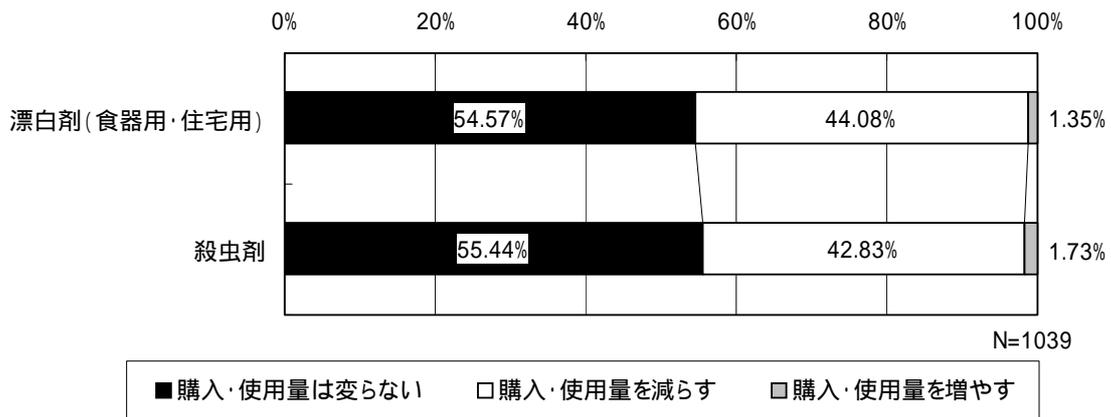
なお、いずれの表示についても、「どちらとも言えない」という回答が 3 割以上を占めました。

(24) 上記のようなGHSに基づく表示がついた場合、購入・使用量は変わるとお考えですか。

製品A（危険）の場合

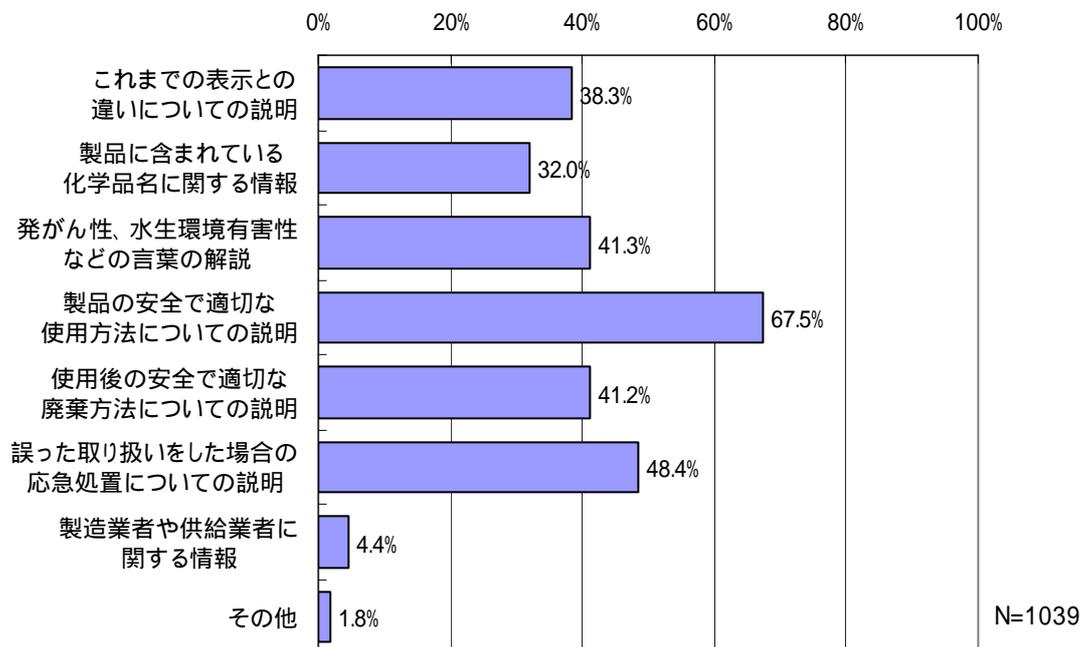


製品B（警告）の場合



より危険有害性の高い表示が付いている製品Aについては、購入量や使用量を減らすという回答が7割以上を占めています。一方、より危険有害性の低い表示が付いている製品Bについては、購入量や使用量は変わらないという回答が過半数を超えています。

(2 5) GHS という化学品の危険有害性に関する新しい表示制度の導入にあたって、特に、どのような情報の提供を望みますか。



GHS に関する情報提供としては、製品の安全で適切な使用方法についての説明を望むという回答が約 7 割と最も多くなっています。

[本件の問い合わせ先]

環境省環境保健部環境安全課 GHS 担当

電話：03-5521-8260

FAX：03-3580-3596

E-mail：ehs@env.go.jp